

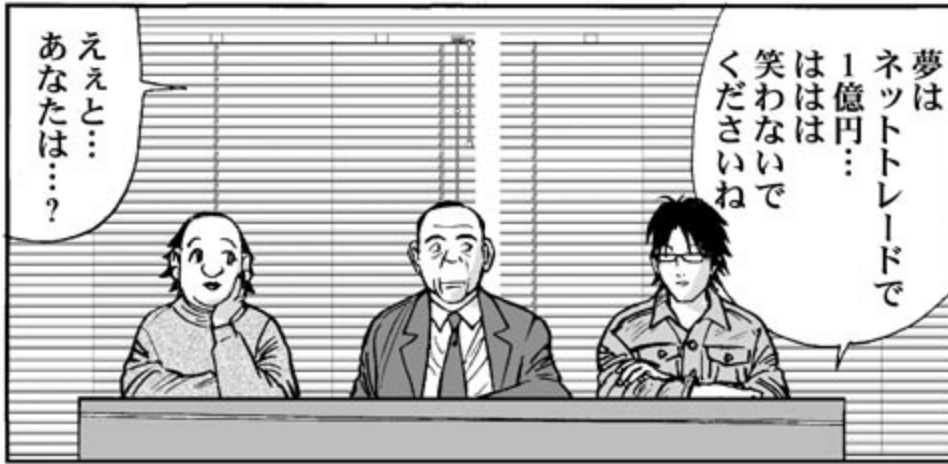
CONTENTS

Chapter 1	構造的な要因と投機的な要因	13
Chapter 2	相場を動かす構造的な要因	34
Chapter 3	投資と投機	57
Chapter 4	あなたは投資家？ 投機家？	99
Chapter 5	投資と投機とでは対応が違う	119
	あとがき	165



■免責事項

この本で示してある方法や技術、指標が利益を生む、あるいは損失につながることはない、と仮定してはなりません。過去の結果は必ずしも将来の結果を示すものではありません。この本の実例は教育的な目的でのみ用いられるものであり、売買の注文を勧めるものではありません。また投資を斡旋・推奨するものではありません。





兵法での己が
自己の戦力であるように
相場での己は
自己資金の性質です

劣った戦力での
奇襲は
あくまで奇襲
であり

奇襲でさえも
成功するには
それだけの
条件が必要です

己 自己資金の性質

相場でも気力や技術が
いかに卓越していようと
資金の性質による制限を
超えることは
できないのです

孫子の兵法を
資金運用の現場に
当てはめると…

「相場を知らずとも
自己資金の性質を
十分に理解すれば
勝ち目も十分にあり
自己資金の性質を
曖昧にしたままでも
相場を知っていれば
勝ち目は
少なからずある…
どちらも知らなければ
勝敗は運に
任せるしかない」
となります

「敵を知り
己を知れば
百戦危うからず」という
言葉を聞いたことがあると
思います
知らねー

孫子の兵法じゃな
知っておきな

孫子の兵法に
ある言葉で
「敵を知らずとも
己を十分に理解すれば
勝ち目も十分にあり
己を知らなくても
敵を知っていれば
勝ち目は少なからず
ある

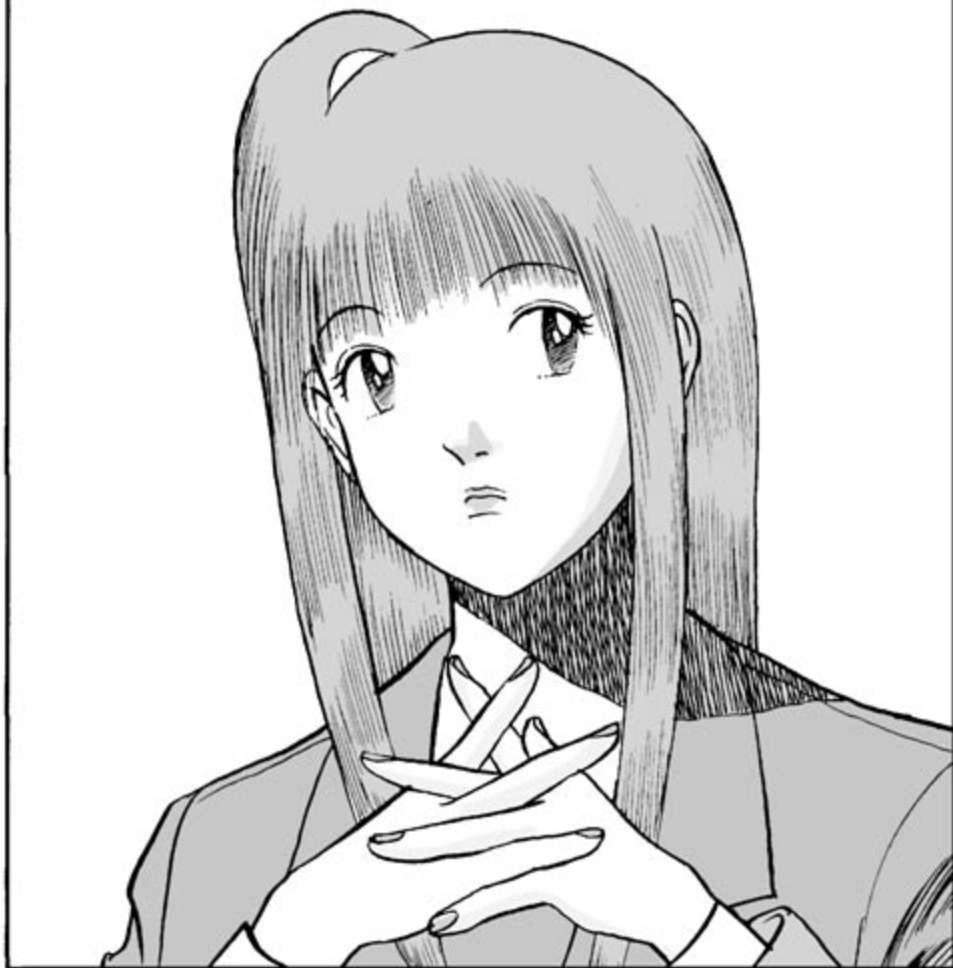
どちらも
知らなければ
勝敗は天に
任せるしかない
と続きます

これを資金運用の
現場に置き換えると
敵とは相場の動きにあたり
己とは自分自身に
あたります

敵は相場の動き 己は自身

しかし
自分の性格や心理状態を
分析するより前に
知っておかなければならない
ことがあります

1 構造的な要因と 投機的な要因



そして「相場を知り
自己資金の性質を
理解すれば百戦危うからず
という域に達することも
十分に可能なのです」

相場を知る

資金の
性質を
理解する

自己資金

どちらも
知らん!

えーい
出たところ
勝負!

どーにか
たまる
わい!!

どちらも知らなければ
「勝敗は運に任せる
しかない」
となります

まずはその
敵であるところの
相場を知るところから
始めてみましょう

直近25
先
株
経済新聞には
日々の株式市場の
動向が書いて
あります
株価の
上げ下げの要因を
さまざまな材料を
もとに解説して
あります

ゆきさん
いい機会だから
こちらに来て
株式市場について
一緒に勉強しよう
はい

その…
構造的な要因
投機的な要因
なんですか？

ここで注意しなければ
ならないのは…
ここにある株価の
変動要因には
構造的な要因と
投機的な要因とが
入り混じっていると
いうことです
このような
経済新聞の
記事では
より多くの事実を
簡潔に述べるのが
要求されているので
そのあたりの区別が
されていないんです

構造的な要因
投機的な要因

なにも
わかりませんが
…
きょうは
みなさまと一緒に
勉強させて
ください
よろしく
お願いします